

令和2年9月第5回松阪市議会定例会

請願文書表

受理番号	請願第1号
受理年月日	令和2年8月27日
件名	子ども一人一人を大切にし、感染症にも強い少人数学級の推進を求める請願
請願者の住所及び氏名	松阪市久保町851番地1 新日本婦人の会松阪支部 支部長 竹田 房子
請願要旨	別紙のとおり
紹介議員	殿村 峰代 栗谷 建一郎 楠谷 さゆり 久松 倫生

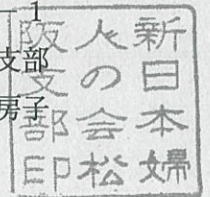
2020年8月27日

子ども一人一人を大切に、感染症にも強い少人数学級の推進を求める請願

松阪市議会議長 西村友志様

【請願人】

松阪市久保町851-1  
新日本婦人の会松阪支部  
支部長 竹田房子



【紹介議員】

久松倫生 (松) 楠谷さゆり (楠)  
殿村峰代 (殿) 栗谷建一郎 (栗)

【請願趣旨】

新型コロナウイルスの感染症拡大は教育の場に多くの問題提起をしました。臨時休校や学校再開、夏休みの短縮などの措置がとられてきました。その間「3密」を避けるためにクラスの2分の1程度の人数の授業ができる分散登校や時差登校が行われたりしました。その中で20人程度の少人数の学級だと、授業がよくわかる、一人一人の顔がよく見えるなど、先生も子どもたちも実感しました。

子どもたちの学びを保障し、感染症の拡大を防ぎ、先生も子どもたちも生き生きと学校生活を送れるように少人数学級の実現がとっても大事なことが明らかになりました。

現在の40人学級では、感染症防止の十分な身体的距離もとれません。これから必要となる子どもたちへのケアや学力の保障を考えると先生の負担も大変です。

早急な少人数学級については、全国知事会・市長会・町村会や全国PTA連合会からも実施が求められています。

多くの国民の声に応える少人数学級の早期実現とそのための教職員の定数改善を国の責任で行うよう、松阪市議会として意見書を出していただきますよう請願します。

【請願項目】

- ① 20人学級を展望し、安心、安全な小人数学級を速やかに実施するよう国に意見書をあげてください。
- ② そのために、教育環境の整備と教職員の定数改善を進めるよう国に求めてください。

以上

